

偉大な神を求めることで 得る祝福

あなたは“偉大さ”をどう定義しますか？別の言い方で表すと、ビジネスや特定の専門分野において、誰が見ても本当に偉大であるという領域に達するには何が必要でしょうか？

ある人々は、誰かが偉大であるという際に多くの物質的富を得ることと結びつけます。偉大であるためには、自身が置かれている分野で高い地位や名声を手に入れなければならないと言う人もいるかもしれません。一部の人々にとっての偉大さとは、有名な雑誌に掲載される記事のタイトルなどで注目を得ることや、テレビ番組でインタビューされること、または企業の製品を売り込むコマーシャルに出演できる有名人になることなどを意味するのです。

もちろんこれらは、高い水準での達成度を測るための重要な判断基準の一つでもあります。ですが、そのような点が本当に偉大であることとイコールであると言えるでしょうか？そして多くの人は、自分の職業においてある程度の高みに達しているのにもかかわらず、「本当にこれがすべてだろうか?!」と自問自答し、後悔するのです。次に、わたしの知人で、偉大であるという点において異なる見解を持つ人物の話を皆さんにお伝えしたいと思います。

事業主として第一線から引退したダグは、モンタナでの1週間のフライフィッシングの旅から戻ったばかりだと言いました。その旅には、自分よりも若い男性10人と一緒に掛けており、ダグは70代でなんと他のメンバーのほとんどは40代。これほどまでに年齢差があるのに、なぜダグはこんなに年齢が離れた男性たちに対し、多くの時間を費やすのでしょうか？ダグはこう言いました。「わたし

は、実は釣りが好きでは無いんです。一週間もかけて5匹の魚しか捕まえられませんでした。それでも何年間も彼らの相談相手になっています。聖書を勉強しながら、彼らが外で楽しんでいるのを見ることが、私にとっては非常に価値があることなのです。」

メンターとして、ダグは個人的経験や、その経験から得た知恵などを彼らと分かち合っただけでなく、“御言葉”という、この世界で唯一不変であり、時を超越した真理と知恵の源に導き、その神の言葉がいかに彼らの人生全てに関係するかを彼らが理解することを助けたのです。

もちろんダグはそのような時間の割き方をする必要は全くありませんでした。引退したビジネスマンとして、自身が成し遂げた栄光に満足し、在職中にはあまり時間を割けなかった趣味や興味のある分野に時間を割いても良かったわけです。ですがダグは、明確にある点に対して特別な興味を示し、それを追求しました。それは、「彼が関わってきた男性たちが、それぞれの職場や生活の中でいかに効果的で多くの実を实らせる主の弟子となることができるか？」という、自分よりも若い者たちの信仰の成長を助けることに情熱を注ぐことだったのです。それはまさに、第二コリント人への手紙5章20節で述べられている通り「キリストの使節」となることでした。

ある意味で、ダグは確かに時間を犠牲にしています。ですが、彼はそのようには見ていません。人々が神の方法を実践したり、学んだりすることを助けることが非常に特別な特権であると彼は考えているのです。これは彼が言ったわけではありませんが、彼はこのプロセスを通して、イエス・キリストがマタイの福音書5章19節で言った、『それを守り、また守るように教える者は、天の御国で、偉大な者と呼ばれます』というこの御言葉を生きているのです。

彼はまた、マタイの福音書6章19節～21節に記されているように、イエスが「山上の説教」で教えられた別の原則も行っています。

「自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。そこでは虫とさびで、きず物になり、また盗人が穴をあけて盗みます。自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。」

ダグがはらった犠牲は、彼を天の御国において偉大な者とするかもしれません。彼の場合はそれだけではなく、そこに何人かの若い男性たちも連れていけるかもしれないのです。ダグは、地上の報酬を求めるのではなく、イエスがヨハネの福音書 15 章 16 節で述べている、「実が残る」ものに目を向けているのです。

もっと深めるために：

1. 冒頭での問いである偉大であることの定義についてあなたは何と答えるでしょうか？特に、この言葉をあなたの仕事という枠で考えてみた際に、偉大であるために何が必要でしょうか？

2. なぜボックス氏は、目に見える具体的な報酬、富や名声、または地位や称賛などを追求するだけでは不十分だと述べたのでしょうか？

3. あなたは今まで誰かのメンターとして奉仕したことがありますか？または誰かにメンターとなってもらいその恩恵を受けたことがありますか？ダグが話していたように何かやりがいを感じましたか？

4. 地に宝を積むよりも天に宝を積むというこの言葉の意味は何だと思えますか？あなたの仕事や生活に当てはめて考えてみるといかがでしょうか？ご自身の日常を振り返って評価してみてください。

参考聖書箇所リストです。参照ください：箴言 11:4,28, 15:6,16, 23:4-5, 27:24, 28:20;テモテ第一 6:17-19;ペテロ第一 1:4

英語版 Monday's Mana は[こちら](#)

この発行はリック・ボックス氏によって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC が毎週発行しているメールマガジンです。「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の超教派的働きである CBMC は、1930 年に創立され、世界中で、各業界で働いている従業員や経営者に対してイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

©2021 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。